



国際プラザニュース



発行: (公財) 宮崎県国際交流協会 〒880-0805 宮崎市橘通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階
Tel: 0985-32-8457 Fax: 0985-32-8512 ホームページ: <https://www.mif.or.jp/> E-mail: miyainfo@mif.or.jp
開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜] 休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日

宮崎県国際プラザ休館日のお知らせ

2020年4月29日(水)は祝日のためお休みです。

外国人のための日本語講座 初級1・初級2

※要申込み

県内在住の外国人の方を対象に、日本語の初級講座を開催します。ぜひご参加ください。

◇日 時: 4月14日(火)~7月9日(木) 全25回

毎週火曜日・木曜日 10:10~12:00

初級1 初級2

◇場 所: カリーノ宮崎 地下1階

◇対 象: 初級1 初めて日本語を学ぶ方

初級2 ひらがな、カタカナが読める人

◇受講料: 無料 ◇教科書: ￥2,160(税抜)

◇申込み・問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会



国際化推進事業費補助金制度のご案内

県内の団体が国際交流事業を行う場合、次の条件により事業費の一部を補助します。

希望される団体は申請関係書類をお送りしますので、ご連絡ください。事業内容等を審査し、交付団体を決定します。補助金は精算払いにより交付します。

◇対象事業: 団体が行う県民の国際交流の推進に寄与する先駆的・効果的な事業で、原則として一般県民が参加できる事業、又は、一般県民への波及効果があるもの。

◇対象経費: 上記事業の実施に必要な経費

(団体運営費は除く)

◇補助金: 事業費の2分の1以内(限度額5万円)

◇申請締切日: 5月末日

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会(担当:小倉)



多文化共生アドバイザー派遣制度

多文化共生社会づくりに関する学校や地域などで行う講座や会合に講師を派遣します。「国際理解講座」や「多文化共生講座」を開催する際はぜひ当制度をご活用ください。

また新しいアドバイザーの登録も募集しています。

◇外国人講師の出身国: 台湾、中国、フィリピン、イギリス、デンマーク、エジプト、ドイツ、アメリカ、ウズベキスタン

(その他の国についてはご相談ください)

◇講座内容: 多文化共生、料理、歴史、楽器、お茶、踊りなど

◇日本人講師の滞在国: ザンビア

※講座内容: 多文化共生、国際協力、エイズ問題対策など

◇補助内容: 講師の謝金及び旅費は当協会が負担します。

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会

(公財) 宮崎県国際交流協会の事業紹介

2020年度、(公財) 宮崎県国際交流協会では次の講座を開催する予定です。開催時期が近づきましたら、詳しい情報をホームページ(<https://www.mif.or.jp/>)またはプラザニュースにてご案内いたします。当協会Facebookもご覧ください。

【講座】

- ・日本語講座・初級(前期・後期)
- ・日本語れんしゅう会
- ・防災セミナー
- ・外国人のための防災講座
- ・外国人災害サポートボランティア養成講座
- ・多文化共生アドバイザー養成講座
- ・チャット(英語・中国語・韓国語)
- ・ワーキングホリデー説明会
- ・日本伝統文化体験講座
- ・国際理解講座
- ・日本語学習支援者向け講座・講演会
- ・外国人住民支援講座



【イベント・行事】

- ・世界とトモダチみやざき国際フェスタ
- ・アートフェスティバル「外国人が見た宮崎」作品展
- ・日本語スピーチコンテスト



【ボランティア・講師】

- ・日本語ボランティア
(日本語ボランティアの登録・紹介を行っています)
- ・通訳ボランティア
(交流行事の場における通訳を行うボランティアです)
- ・ホストファミリーボランティア
(ホームステイの受け入れ家庭を随時募集しています)
- ・日本伝統文化ボランティア
- ・宮崎県国際プラザカウンターボランティア
(前期: 4月~9月、後期: 10月~3月)
- ・多文化共生アドバイザー派遣制度
(国際理解講座等に無料で講師を派遣します)



【刊行物】

- ・サウスウィンド(年2回発行)
- ・Living in Miyazaki
(毎月最終週に宮崎日日新聞に英語で掲載)
- ・プラザニュース(毎月発行)

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会



外国人のための日本語れんしゅう会

※申込み不要、参加費無料

◇日 時：10:30～11:30

〔水曜日〕4/15、4/22

〔金曜日〕4/10、4/17、4/24

※4/1、4/3、4/8 は休み

◇場 所：カリノ宮崎 地下1階

◇問合せ：（公財）宮崎県国際交流協会

再開します！



JICAデスク宮崎よりお知らせ

「JICA九州主催イベントの延期・中止について」

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月末まで当センターが主催するイベント等は延期、または中止とさせて頂きました。4月以降の予定につきましては、現段階では見通しが立たない状況にあります。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。最新情報は随時更新してまいりますので、JICA九州のホームページをご覧ください

JICA九州ホームページ：

<https://www.jica.go.jp/kyushu/>

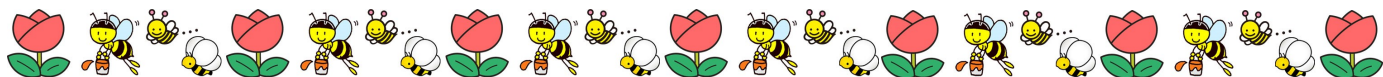
（JICAデスク宮崎：田代）



～スタッフのつぶやき～



プラスチック問題は世界で大きくとりあげられていますね。エコバッグを使い続けていくうちに、プラスチック袋はあまり必要ない事に気付きました。先日、日本語が少ししか話せない外国人の友達がコンビニに行った時、言葉はあまり使えないけれど、レジ袋はちゃんと“いりません”と断っているのを見ました。言語以外で外国人から学んだ瞬間でした。（M）



♪プラザニュース 韓国語版より

「コロナ」



県国際交流員
パク ユジン

春になり、花の季節が戻ってきましたが、最近私たちが直面している春はコロナの影響のせいか、冷たい風が吹き、まだ冬のような感じがします。友たちとご飯を食べに行ったり、旅行に行くことも周りの視線を意識しなければならぬくらいコロナは私たちの日常生活に大きな変化をもたらしています。私においてはコロナの影響が大きく及ばないだろうと予想しましたが、予想に反して多方面で広がっていました。例えば、業務的には学校の休校により学校訪問の日程がキャンセルになったり、または2年間続いてきた韓国語チャットクラスの最後の授業を迎える前に受講生の皆さんと挨拶も出来ず、中止になってしまったりなどがありました。

何よりも宮崎で一緒に働いていた韓国の関係者の方がコロナの影響で宮崎を離れざるを得ない状況になり、宮崎と韓国の交流も少なくなるのではないかと少し心配です。

それとともにコロナの影響を実感しています。コロナのせいで人との交流はもちろん、世界の交流も断ち切られているこの頃、人と人が関わり合う大切さも身に染みて感じています。

1日も早くコロナが治まるように願っています。



みやざき外国人サポートセンターの事業案内

【相談】

- ・センター相談員による相談
- ・外国人のための生活・法律相談会（随時）
（弁護士・行政書士が生活に関する相談に対応します）
- ・生活相談員による外国人のための生活相談（随時）
（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語で相談ができます）
- ・出張相談会（県内各市町村）



【対応できる言語】（翻訳機・電話通訳で対応します）

英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、タガログ語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ミャンマー語、モンゴル語、クメール語
外国人を支援されている方からのご相談にも対応します。

【対応時間】 火曜日から土曜日 10:00～19:00

Tel 0985-41-5901 Fax 0985-41-5902

E-mail support@mif.or.jp

詳しくはサポートセンターFacebookをご覧ください。



【今月のおすすめ図書】

『サトコとナダ』1巻～4巻
ユベチカ（著）



日本人にはまだあまり馴染みのないイスラム文化。「へ～っ、そうだったんだ！」の連続と、あの黒い衣装の下に隠されたヒミツ。アメリカ留学中にルームメイトになった日本人の女の子（サトコ）とサウジアラビア人の女の子（ナダ）が繰り広げる涙と笑いの友情物語。ムスリマ（イスラム教徒の女性の呼び方）についてマンガでとても分かりやすく描かれています。異文化理解の第1歩にぜひ！